

1. 基本情報

- (1) 国名：コートジボワール共和国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：アビジャン市
- (3) 案件名：アビジャン立体交差建設計画
(Abidjan Flyover and Underpass Construction Project)
- (4) 事業の要約：本計画は、大アビジャン圏を横断するミッテラン通り上に位置する3交差点の立体交差化により、交通容量を増強して交通の円滑化を図り、もって同国の経済成長の加速化に寄与するもの。

2. 事業の背景と必要性

- (1) 本事業を実施する外交的意義

コートジボワール共和国（以下「コートジボワール」という。）は、西アフリカ経済通貨同盟（UEMOA）経済の4割を占める西アフリカ地域の大国であり、西アフリカ諸国経済共同体（ECOWAS）経済圏の安定・発展・地域統合においても重要な役割を果たしている。

我が国は、TICADVI の機会に、日本企業の関心の高い西アフリカ成長地域の三重点地域の総合広域開発、都市開発（都市交通の整備等）等の分野において、アフリカ開発銀行との共同イニシアティブ（EPSA）も活用しつつ、約100億ドル（約1兆円）の質の高いインフラ投資を実施することを表明しており、本計画は同コミットメントの達成に貢献するものである。

2015年10月、安倍総理とヴァルス仏首相との会談後に発出された「アフリカにおける持続可能な開発、保健及び安全のための日仏計画」では、アビジャンをアフリカの持続可能な都市に関する日仏協力のパイロット都市として選定し、日本は運輸・交通、仏は水、衛生、廃棄物処理及びエネルギーを中心に協力を進めていくこととしており、本事業は本計画に沿ったものである。

- (2) コートジボワールにおける都市交通セクター及びアビジャン地域の開発の現状・課題及び本事業の位置付け

JICAの開発調査型技術協力「大アビジャン圏都市整備計画策定プロジェクト」（2013年～2015年）で策定した「大アビジャン圏都市整備計画」において、全118件の整備事業を提案しており、そのうち51件を優先事業として位置付けている。本計画で対象とする3交差点が位置するミッテラン通りは、アビジャン中心部とアビジャン市民の居住地であるリベエラ地区を結ぶ道路として混雑が激しく、また、貨物輸送にも利用される第一級道路とされている。このため、同通りの整備の必要性が「大アビジャン圏都市整備計画」でも指摘されており、3交差点のうちの1つは優先事業に、残りの2つも重要整備事業に位置付けられている。コートジボワール進出企業からは、アビジャン市内の交通インフラの不足及びその非効率性が交通渋滞、事故の多発、輸送コストの増嵩、環境悪化を招いており、ビジネスの参入及び拡大の阻害要因の一つと指摘されている。本計画はアビジャン市内

の交通インフラの整備を通じたコートジボワールの経済発展、並びに本邦企業の同国進出及び事業拡大に貢献するものである。

(3) 都市交通セクター及びアビジャン地域に対する我が国の協力方針等と本事業の位置付け

1960～70年代の「象牙の奇跡」時代に整備された道路、鉄道、港湾等のインフラは、コートジボワールを西アフリカ地域内の大国に押し上げたが、1990年代以降の政治・経済不安を受けて適切な投資・管理がなされなかったため、老朽化、サービスの低下が著しい。また、アビジャン-バマコ回廊、アビジャン-ワガドゥグ回廊及びアビジャン-ラゴス回廊の起点国として、域内の経済成長に貢献するため、広域に裨益する道路、港湾、OSBP等の回廊インフラの整備を支援することとしている。対コートジボワール共和国国別開発協力方針(2014年4月)においては、重点分野として「経済成長の加速化」の中で、「インフラ整備」(アビジャンの都市インフラ。さらには、同市を基点に国際回廊、港湾等のインフラを整備し、国内及び域内の成長基盤を支える。)が掲げられ、大アビジャン圏の都市インフラ整備を支援する方針としており、本計画は同方針に合致する。

(4) 他の援助機関の対応

ア アフリカ開発銀行(AfDB):本計画対象交差点から北東約2kmに位置する第三橋の建設(2014年12月完工)。

イ 米国(MCC):本計画対象交差点から南に1km先に位置するヴリディ橋を無償で整備する計画がある。

ウ 中国:本計画対象交差点から南東約5kmに位置するアビジャン-グランバッサム高速道路(総事業費は約164億円。うち約124億円が中国輸出入銀行による融資):28kmの片側3車線の高速道路建設。

(5) 本事業を実施する開発政策上の意義

本計画は、コートジボワールの開発課題・開発政策並びに我が国の協力方針に合致し、大アビジャン圏の交差点機能の強化を通じて大アビジャン圏の経済成長の加速化に資するものであり、SDGsゴール9に貢献するもの。

3. 事業概要

(1) 事業概要

① 事業の目的

本計画は、大アビジャン圏を横断するミッテラン通り上に位置する3交差点の立体交差化により、交通容量を増強して交通の円滑化を図り、もって同国の経済成長の加速化に寄与するもの。

② 事業内容

詳細については、協力準備調査において検討する。以下(ア)、(イ)、(ウ)の交差点整備はいずれも国際競争入札(タイド)を予定。

(ア) 警察学校前交差点

6車線(片側3車線)、約270mの高架橋の建設、側道整備

(イ) オルカ前交差点

6車線(片側3車線)、約200～300mの高架橋の建設、側道整備

(ウ) パルメリー交差点

6車線（片側3車線）、約200～300mの地下道路の建設、側道整備

(エ) コンサルティング・サービス：詳細設計、入札補助、施工監理等（ショート・リスト方式）

③ 他の JICA 事業との関係

開発調査型技術協力「大アビジャン圏都市整備計画策定プロジェクト」（2013年～2015年）で策定した「大アビジャン圏都市整備計画」において、全118件の整備事業を提案しており、そのうち51件を優先事業として位置付けている。本計画で対象とする3交差点1つ（警察学校前交差点）は優先事業に、残りの2つも重要整備事業に位置付けられている。

開発調査型技術協力「西アフリカ成長リング回廊整備戦略的整備計画策定プロジェクト」（2015年～2017年）においては、西アフリカ地域の総合開発に係る10個の重要戦略を掲げており、その中で「域内経済統合と内陸部投資促進のためのスピードを重視した輸送回廊インフラの戦略的アップグレード（域内でのコネクティビティ強化）」、「回廊でのビジネス環境を改善するための基礎インフラ整備」について言及している。右重要戦略を具体化すべく、暫定案として270件以上の国別優先プロジェクトを提案しており、コートジボワールについては、アビジャン市内においてボトルネックとなっている道路及び交差点の整備について言及している。本計画で対象とする3交差点が位置するミッテラン通りは、第一級道路とされていることから、本計画は上記方針に整合する。

(2) 事業実施体制

① 借入人：コートジボワール共和国政府

(The Government of the Republic of Côte d'Ivoire)

② 事業実施機関／実施体制：道路管理公社

(L'Agence de Gestion des Routes: AGEROUTE)

③ 他機関との連携・役割分担：AfDBとの平行協調融資を想定。AfDBは、「アビジャン都市交通整備事業」について支援表明しており、本計画では、AfDBによる支援対象地域と関連する交差点の改良を行う。

④ 運営／維持管理体制：経済インフラ省の下部組織であるAGEROUTEが運営／維持管理を行う。立体交差点の維持管理経験は有するものの、いずれもコンクリート造のものであるため、本計画で想定される鋼構造の維持管理については、点検マニュアルの作成や維持管理にかかるOJTの実施など、ソフトコンポーネントの要否について協力準備調査にて詳細調査する。

(3) 環境社会配慮

① カテゴリ分類 A B C FI

② カテゴリ分類の根拠：本計画は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010年4月公布）に掲げる道路セクターのうち、大規模なものに該当せず、環境への望ましくない影響は重大でないと判断され、かつ、同ガイドラインに掲げる影響を及ぼしやすい特性及び影響を受けやすい地域に該当しないため。

- (4) 横断的事項：該当なし
- (5) ジェンダー分類：ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件
- (6) その他特記事項

ア 本計画は、交通量が多く沿道開発の進んだ路線における交差点立体化事業であることから、急速施工による鋼構造の高架橋建設について本邦技術の活用が見込まれる。

イ AfDB 事業との平行協調融資に位置付けられることから、同事業進捗について随時確認する（2017年3月開始，2021年12月に協力終了見込み）。

ウ 協力準備調査の中で、温室効果ガスの排出削減効果等、気候変動対策の緩和効果について検討を行う。

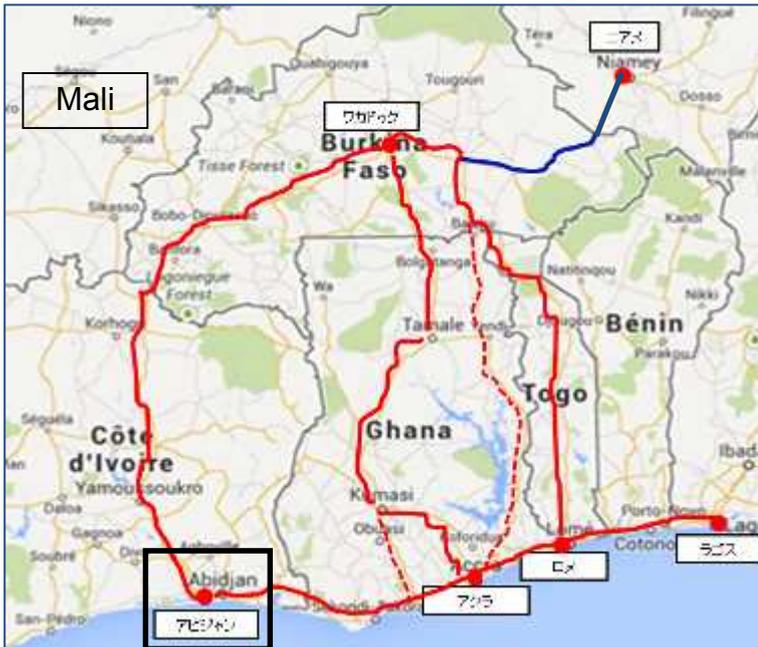
4. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

急速施工による鋼構造の高架橋建設を行ったフィリピン共和国向け有償資金協力「メトロマニラ立体交差建設事業（IV）」の事後評価等では、着工前の詳細計画段階において、工事の遅延やコストオーバーランを引き起こしうる設計変更を回避すべく、より詳細な技術調査・設計を行うべきと指摘されている。本計画では、現地条件を正確に把握し、実施可能な施工計画を十分に検討する。

以 上

[別添資料] 地図

[別添資料] 地図
アビジャン立体交差建設事業



※赤線は本事業対象交差点のあるミッテラン通り。
緑丸が本事業対象交差点（下部地図参照）。

